

附属中学校へのご支援のお願い

保護者の皆さまにはますますご清祥にお過ごしのことと存じます。いつも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございます。

現行の学習指導要領では、社会の変化の1つに「人工知能の飛躍的な進化」をあげ、子供たちが様々な変化に積極的に向き合えるように育てていくことを、学校教育に求めています。このような社会の要請に応え、伝統ある附属の教育を一層充実していくためには、学びの「場」である校舎や設備の充実も不可欠です。

あわせて、学びの環境の多様化と充実は、喫緊の課題となっております。今後の状況の変化も予想される中、すべての生徒の学びの保障のため、準備をしていきたいと存じます。

しかし現在、大学からの運営費交付金は年々3.5%ずつ減額され、しかもその1/3は光熱費への支出となっております。また、校舎の老朽化(築約60年)によって、破損箇所も多く出ています。このような状況の中、保護者の皆さまには「向上会(後援会)」にご入会いただき学校施設改善費等のご負担をお願いしておりますが、それだけではなかなか設備の更新を進められないのが現状です。

附属中学校は令和2年夏に、全普通教室へのプロジェクター設置、老朽化した黒板及び放送設備の更新を行いました。GIGAスクール構想にも合致する、学習方法や形態の新たな工夫が可能な環境整備です。その費用の一部として、令和元年秋に保護者・卒業生・教職員に寄附のお願いをし、令和2年9月現在約800万円のご協力をいただきました。ご協力いただきました皆さまには、本当に感謝しております。

今後は、特別教室にもプロジェクターを設置する等の教育環境整備を進めていく予定です。これは、新学習指導要領に明記されたICT教育を進めていくためでもあります。

このため保護者の皆さまに、引き続き任意のご寄附をお願いいたします。附属中学校のよりよい学習環境を整えるために、皆さまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

—目標金額—

3,000万円

お願い金額

1口 10,000円

※複数口のご支援をいただけると幸いです。

※ご支援方法については裏面をご覧ください。

多機能プロジェクター導入によって、授業の方法が大きく変わりました。

